

平成18年第2回定例会

質疑・質問

たけ ざわ よう いち
竹 沢 陽 一

こう かい とう
公 明 党

横山 敦子 平岡 益生
加藤美江子 坪井 年明
竹沢 陽一

●議案質疑●

議案第165号 津市障害者介護給付費等の支給に関する審査会の委員の定数を定める条例の制定についてに関連して

- (1) 認定審査の具体的な内容と審査会の体制は
- (2) 認定事務を行う障がい担当体制の充実を

議案第184号 平成18年度津市一般会計補正予算(第1号)中
1 「元気づくり事業」に関連して

- (1) 職員の公募による事業決定への取り組みの主旨と概況は
- (2) 継続的な取り組みを

2 歳出 第4款 衛生費中「救急医療事業」について

- (1) 事業内容は
- (2) 救急救命体制の更なる充実を

認定第2号 平成17年度津市モーターボート競走事業特別会計歳入歳出決算に関連して

- (1) 年度決算の見直しは
- (2) 経営改善の効果は
- (3) 法定交納付金制度の見直し等、今後の改善への取り組みを

●一般質問●

1 「地方分権・住民自治」について

- (1) 「自治基本条例」の制定を急ぐべきでは
- (2) 政策決定過程への市民参画の

平成18年第2回定例会では、6月12日～15日の4日間にわたり、17人の議員が質疑・質問を行いました。

なお、会派代表質問者、個人質問者とも、質問の順は抽選により決められています。

また、問答の項目はそれぞれの議員が選ばれたものです。

観点から「市民参画条例」「市民協働指針」の策定を

- (3) 市民債や1%予算の事業展開等、参画度・達成度の高い事業の取り組みを
- (4) パブリックコメントの制度化を
- (5) 住民自治システムの構築を
- (6) 「二元代表制」への市長見解は

2 「行政経営」について

- (1) 新市の行政改革大綱策定へのスケジュールと視点は
- (2) 大綱策定への手法と策定後の推進についての市民参画を
- (3) 自治体経営の観点から「総合的行政評価システム」の構築を

3 「総合計画」の策定について

- (1) 策定の手法とスケジュールは
- (2) 市民アンケートの実施等合併後の市民の意見を聞くべきでは
- (3) 地域審議会との連携を

4 教育改革について

- (1) 小中一貫教育実施校の拡大を
- (2) 「学校評価制度」の充実を
- (3) 中教審の英語必修化と国語力の重視との関係はどう捉えるか
- (4) 品川区の「市民科」の研究を

5 子育ての推進について

- (1) 問 「子ども読書推進計画」の策定を

答 家庭・地域・学校を通じて子どもが、いつでもどこでも読書に親しめる環境を整えたい。計画は、アンケート調査等で市民の声を反映し、早期策定に取り組む。

- (2) 「学校図書館」の充実を
- (3) 「子ども権利条例」の制定を
- (4) 「子育て支援センター」の整備を

6 福祉行政の課題について

(1) 認知症への支援の取り組みをア 厚労省の「認知症を知り、地域をつくる10年構想」を積極的に推進すべき

イ 高齢者虐待との関連をどう捉えているか。防止ネットワークの形成を

- (2) 介護保険給付適正化への取り組みの充実を
- (3) 障がい者の小規模作業所等支援対象外事業への検討を

(4) 問 視覚障がい者タクシー券廃止の再考を

答 視覚障がい者の方々の方々の社会参加のための実効ある助成をという趣旨を踏まえ、今年度内に策定を予定している障害福祉計画の中で見直しを検討していきたい。

7 河芸町島崎町線について

- (1) 県との役割分担による早期着工を



▶子どもを読書にいきなう子ども読書推進計画の策定を